

連絡調整会議の報告について

○東部地域連絡調整会議

1 平成20年度第3回東部地域連絡調整会議（平成20年10月28日）

番号	障がい等	概要／意見等／課題	
1	身体障がい・ 成人	概要	「親と子の文通 障害者の自立生活を目指して」著者の〇氏へのインタビューから得られたことについて。
		課題	● 地域生活支援
2	身体障がい 成人	概要	両親は高齢で入院入所しており、本人が自宅で一人暮らしをしている。 働く意識が無く、また、すぐに借金をつくるので成年後見制度を利用している。
		意見等	・ 日常生活自立支援事業を関係者がよく理解し、必要に応じうまく利用することが大切。
		課題	● 権利擁護

2 平成20年度第4回東部地域連絡調整会議（平成21年1月29日）

番号	障がい等	概要／意見等／課題	
1	精神障がい 成人	概要	金銭管理がうまくできない。また、他の人にうまく使われ、権利侵害の被害を受ける可能性がある事例。
		意見等	・ 施設での作業をもっと増やし、関わりを持った方がよい。
		課題	● 権利擁護
2	知的障がい 未成年	概要	学校へ恐怖を感じて通学ができない事例。
		意見等	・ 自閉症の子どもへは、関わる人の全員が同じ理解をもって関わらなければならない。
		課題	● 権利擁護 ● 障がい児支援

○西部地域連絡調整会議

1 平成20年度3回西部地域連絡調整会議（平成20年11月26日）

番号	障がい等	概要／意見等／課題	
1	身体障がい 成人	概要	金銭管理がうまくできず、施設利用料を滞納する方への対応について
		意見等	・ 権利擁護事業をつかってもうまくいかない事例もあるので、本人の自覚を促すことが必要
		課題	● 権利擁護
2	知的障がい 未成年	概要	家族に問題を抱えており、本人の学校教育への問題がある事例
		意見等	・ 児童相談所、区教育事務所、保健師など関係機関を含めた協議が必要。
		課題	● 権利擁護 ● 障がい児支援

2 平成20年度第4回西部地域連絡調整会議（平成21年2月26日）

番号	障がい等	概要／意見等／課題	
1	知的障がい 精神障がい 成人	概要	施設に特定のお気に入りの職員がいて、その職員の関わりが薄くなると、自傷行為をするなどと訴える。
		意見等	・ 主治医も含めてチームで対応方法を考えるとよい。
		課題	● 不当要求への対応 ● チームでの支援